

## Approver Guide アプルーバーガイド

アプルーバーガイドは、インシグニア症例をレビューするために推奨されるプロセスを提供します。体系的な手法により、時間が節約され、一貫性が向上し、ケースマネジメントの効率化が図れます。

### ステップ 1 - 事前レビュー

- 治療の基本設定
- メモ

### ステップ 2 - 評価と修正

- 拡大および臼歯部トルク
- スマイルアークおよび切歯トルク
- A-Pの移動

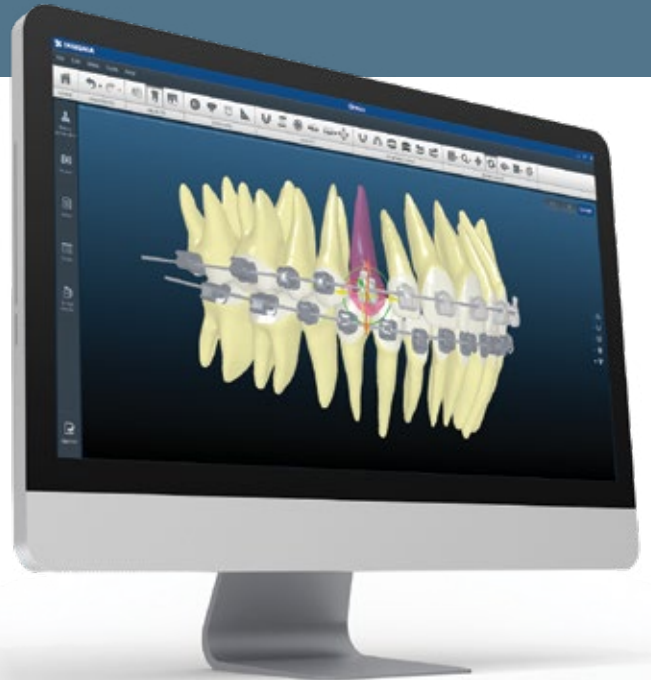
### ステップ 3 - 正しいアライメントの確認

- トルク、垂直方向
- 捻転、近遠心傾斜
- インアウト、近遠心側

### ステップ 4 - 咬合および咬合接触の評価

### ステップ 5 - 装置の確認

- ブラケットの配置
- ブラケットトルク
- アーチワイヤー
- ジグのグルーピング



## ステップ 1 - 事前レビュー

修正を加える前に、以下の項目をレビューします。

### 治療の基本設定

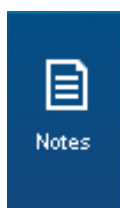
- ブラケット、モラーチューブ、およびワイヤー選択の確認
- 隣接面の削合 (IPR、必要な場合)

基本設定に変更を加える場合は、メモに記載して下さい。



### メモ

症例が戻ってくるたびに、メモをレビューすることが重要です。セットアップに関する情報を提供し、問題があれば警告を發します。

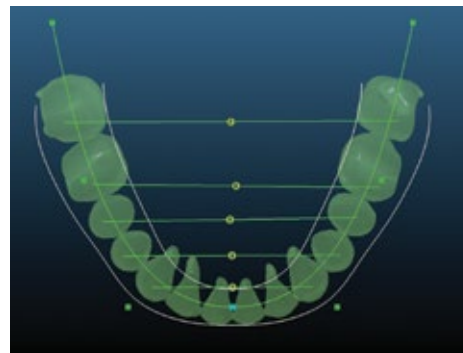


## ステップ 2 - 評価と修正

### 拡大および臼歯部トルク

下顎臼歯部のトルクを評価してから、マンディビュラー トラフに対するインアウトを評価します。舌側ビューで下顎アーチを配置したら、重ね合わせを [オン] にします。根尖が最小限の移動で臼歯部がアップライトされている必要があります。

臼歯部拡大 (グループ全体編集) ツールを使用してトルクを修正してから、アーチフォームツールを使用して下顎アーチのインアウトを修正します。またはメモを残すことにより修正してください。



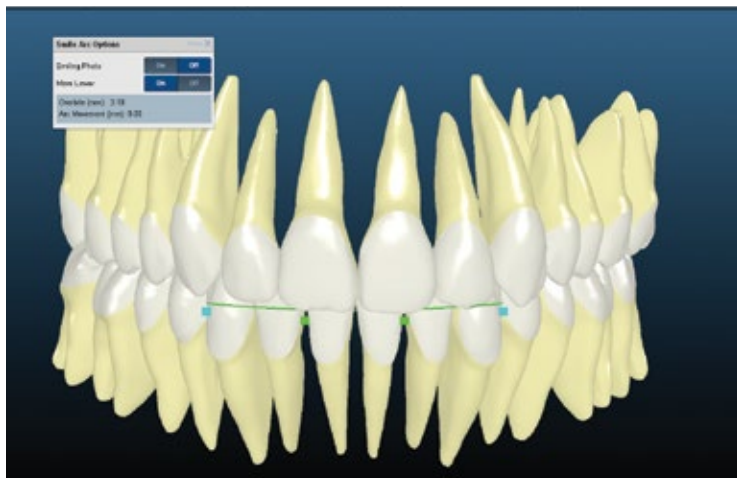
## ステップ 2 (続き)

### スマイルアークおよび切歯トルク

上顎切歯の垂直移動を評価します。患者の正面スマイル写真を参照してください。ムービーを再生するか、または重ね合わせが [オン] の状態で T1 と T2 を切り替えて、上顎切歯が望ましい方向に移動するかどうかを判断してください。

スマイルアークツールを使用するか、またはメモを残すことにより修正します。

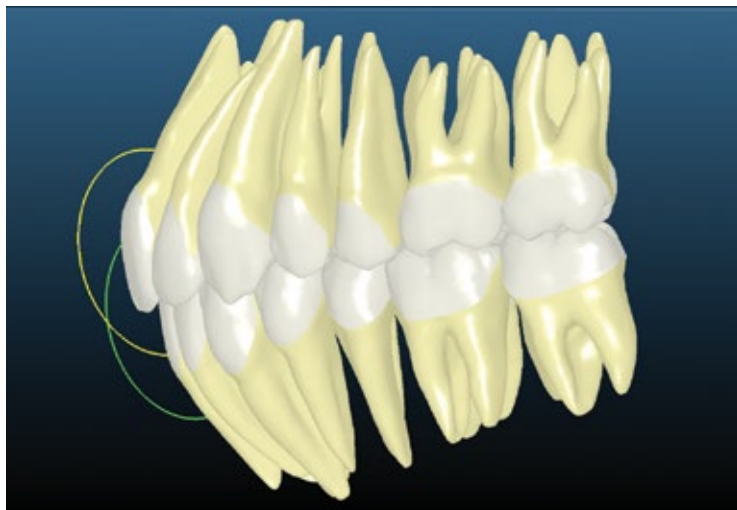
切歯トルクを評価します。患者の写真およびセファロ写真（存在する場合）を参照してください。



#### ヒント!

7°の平均咬合平面になるよう、セットアップを傾斜させています。患者のセファロ写真とセットアップを比較して確認してください。

前歯部トルク（グループ全体編集）ツールを使用するか、またはメモを残すことにより修正します。



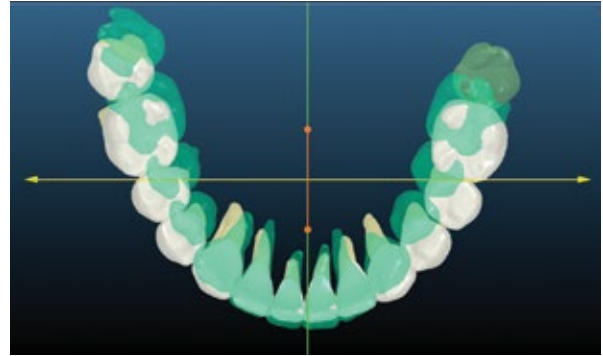
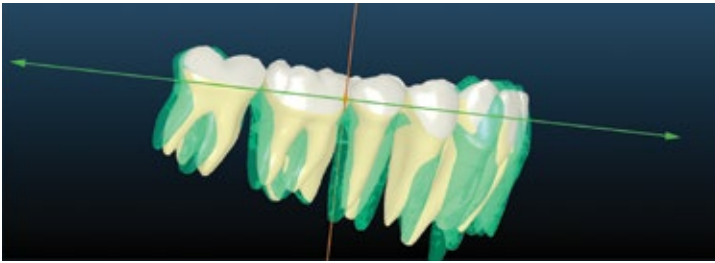
## ステップ 2 (続き)

### A-Pの移動

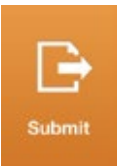
ムービーツールを使用するか、または重ね合わせが [オン] の状態でT2を選択することにより、上下顎アーチの移動方向を評価します。トルク補正だけでなく治療メカニクスも考慮しながら適切と思われる量と方向で歯が移動していることが重要です。



A-P補正（グループ全体編集）ツールを使用して下顎アーチを修正してから、必要に応じて上顎アーチを調整するためにメモを残します。



### 変更の提出



ステップ1または2で変更を加えた場合は、この時点でレビューを行います。変更内容を記録して、必要に応じて症例の「再セットアップ」を依頼するメモを提出してください。

ステップ1または2で変更を加えていない場合は、ステップ3のレビューに進みます。

#### ヒント!

次回症例が戻ってきたときに同じ作業を繰り返さないよう、既に終了した作業については「自分へのメモ」に一時的なリストとして残すようお願いいたします。

### ステップ 3 - 正しいアライメントの確認

上下顎それぞれのアーチを評価してアライメントが正しいことを確認します。必要に応じて軽微な変更を行います。大きな違いが見られる場合は、改善を依頼するメモを残してください。

歯をダブルクリックして、必要な動作を選択することにより修正します。

以下の順番で移動することを推奨します。

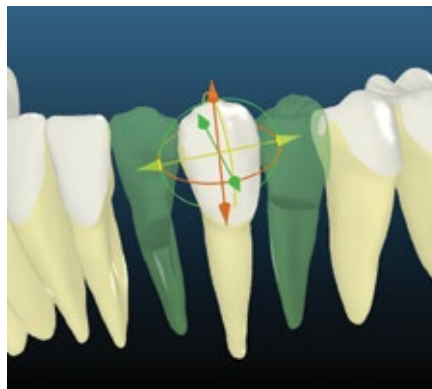
- トルク、垂直方向
- 捻転、近遠心傾斜（パノラマX線写真を参照）
- インアウト、近遠心側

### 各動作の評価に役立つビュー：

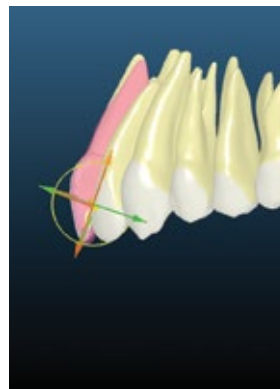
捻転



近遠心傾斜



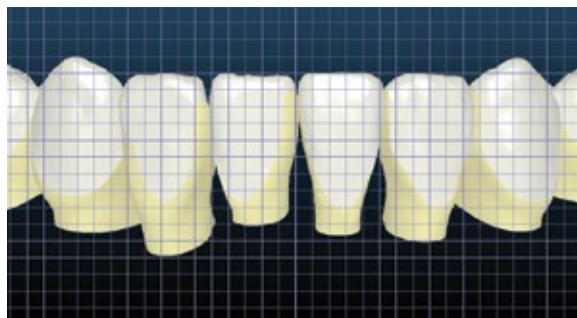
トルク



トルク



垂直方向の対称性



捻転



近遠心傾斜



辺縁隆線



辺縁隆線



## ステップ 4 – 咬合および咬合接触の評価

上下顎のアーチを表示して咬合を評価します。頬側および前歯部のオーバージェット、オーバーバイト、および全体的な審美性を考慮してください。

メモを残すことにより修正します。必要な改善を具体的に記載してください。

咬合ツールとクリッピングビューを使用することにより、咬合接触を評価します。干渉がないことを確認してください。干渉がある場合は、不正な配列によるものか歯の解剖学的構造によるものかを判断してください。

メモを残すことにより修正します。歯をダブルクリックして必要な動作を選択することにより、咬合ツールでインアウト、咬合歯肉側、及びトルクなどに軽微な修正を加えてください。ただし、大幅な修正が必要な場合には、詳細な内容を記載する必要があります。



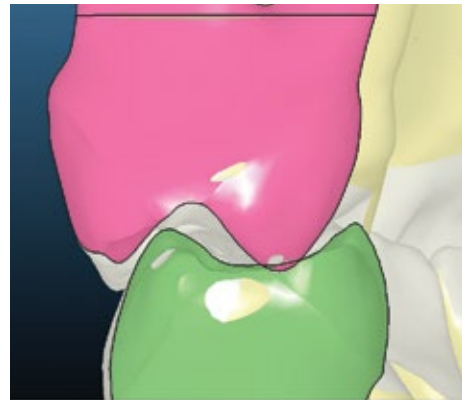
オーバーバイト



全体的な審美性



咬合接触



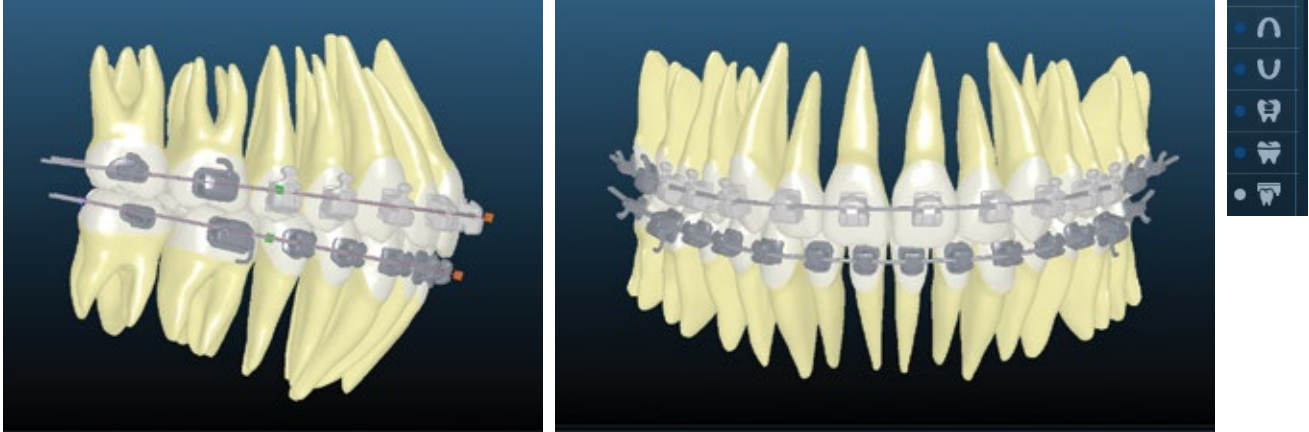
## ステップ 5 – 装置の確認

### ブラケットプレイスメント

正面観および側面観でモデルを配置します。

ブラケットプレイスメントを評価して、咬合面側または歯肉側に干渉がないことを確認します。

ワイヤー面ツールを使用するか、またはメモを残すことにより修正します。



### ブラケットトルク

トルクチャート値を評価します。治療メカニクスための追加トルクが必要かどうか判断してください。

歯の位置を調整するか、またはメモを残すことにより修正します。

Torque Chart			
U1	15.0 ( )	( ) 15.0	U1
U2	13.0 ( )	( ) 13.0	U2
U3	7.0 ( )	( ) 7.0	U3
U4	-11.0 ( )	( ) -11.0	U4
U5	-11.0 ( )	( ) -11.0	U5
U6	-10.0 ( )	( ) -10.0	U6
U7	-14.0 ( )	( ) -14.0	U7
L1	-2.3 ( )	( ) -2.3	L1
L2	-0.7 ( )	( ) -0.7	L2
L3	-3.6 ( )	( ) -3.6	L3
L4	-3.3 ( )	( ) -3.3	L4
L5	10.2 ( )	( ) 10.2	L5
L6	28.0 ( )	( ) 28.0	L6
L7	-10.0 ( )	( ) -10.0	L7

### アーチワイヤー

上下顎の咬合面観でモデルを配置します。

アーチワイヤーを評価して、治療に影響を及ぼすようなワイヤーバンドがないことを確認します。また、アーチワイヤーが未萌出歯に対する十分な長さがあることも確認してください。

歯の位置を調整するか、またはメモを残すことにより修正します。

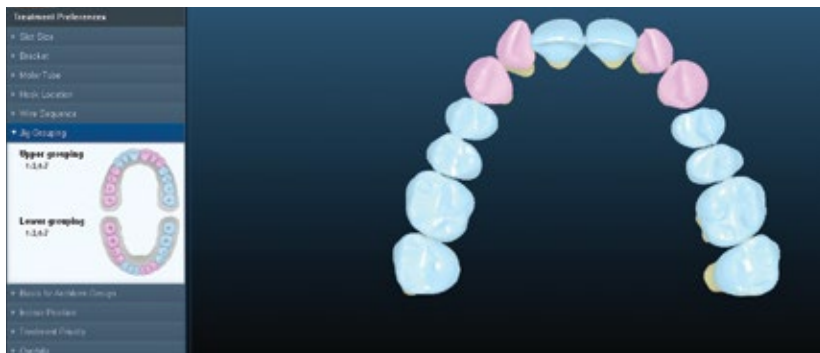


## STEP 5 (続き)

### ジグのグルーピング

ブラケットをオンにしたT1で、セットアップを評価します。シングルジグでなければならない問題が存在しない限り、ジグのグルーピングは基本設定と一致しなければなりません。

メモを残すことにより修正します。



### 承認しますか??



これ以上修正が必要なければ、[承認 (Approve)] をクリックします。

クリックすると、アプルーバーソフトウェアがブラケットの配置とアーチワイヤーの最終確認画面に移ります。



カボデンタルシステムズ株式会社 オームコジャパン

〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー15階

TEL: 0120-65-0653 FAX: 0120-65-0652